

ア-ちゃん

ア-ちゃんの しょうぎアレコレ通信



vol. 8

2024. 3. 28

しょうぎと修験道(しゆげんどう)

このところしょうぎの古い文庫を糸くず漁っている私です📖 というのも私には一つ大きな夢があります。しょうぎのシンボル、**しょうぎ山**にはかつて多くの山伏があり、彼らは**しょうぎ修験**と呼ばれていたと言います。私はその**しょうぎ修験**を再興したいのです。だってこんな素晴らしいお山があるのに、ここに手を合わせる人がいないなんて... **もったいないじゃないですか!!**

という訳で、今回はしょうぎ修験についてつらつらと書いてみようと思います。山岳信仰なんじゃありません!

しゆげんどう

修験道とは?



「日本の山岳信仰」と言われがち。まちが、ちやいないが山だけ信仰しては語れない。(山も大切なんだが) 神も、仏も、自然も、何にでも手を合わせるのが修験道。仏教、神道、道教、陰陽道... いろんな信仰がごちゃ混ぜMIXされたとても日本らしい信仰です。ありがたいものは何でもありがたい。尊いものは何でも尊い。日本人のDNAがここにあります。

山伏とは?



修験道の行者のことです。特にお山に入って修行する者として修行者としての「山伏」と呼びます。だから山に入っていない時は本当は「行者さん」と呼ぶのが正解👍。ちなみに法力が使えるレベルのすごい行者は「修験者」と呼ばれます。馬(修行をつんだしりしての靈験的なヤツ)を修めた者、ということですね!

修行とは?

修行と一言に言いますが、まあいろんな修行があります。皆さんがまず思い浮かべるものといえば滝行とか何か知らんけど山走、てたりするイメージでしょうか。ハハハ。ちなみにお山は基本的に走りません。まあそんな画面映えする修行もやりますが、そんなに毎日やる訳ありません。筋トレとはちがいますからね。他は例えば毎朝供養や祈りを込めて行う勤行や、日々の意識の行である利他行、座禅のような止観行など地味でパツと見分らないようなものもあります。うーん、修行、何なんだ?
私たち行者は得度をして名をいただき、行者となります。「名をいただく」とは生まれ変わることを指します。では何に生まれ変わるのか? **祈られる者から祈る者**として生まれ変わるのです。ただ、生まれ変わ、だからといって自動的に祈りを届けられる力か? そんなわけありません。その力を得るため、本気で祈れるようになるために修行するのです。病が治りますように、豊穰となりやすように、**無事**やかた日々が続きますように... 皆さんの祈りを天まで届けるため、私たちは修行し、**精進**潔斎し、みんなの幸せを原質、しています。それが、修行です🙏

お山は楽しいこともあります。しんどうのこと、コワイこともたくさん。下山するとあやゆまものに有難さを感じます。その時本心に心から感謝し、祈ることができるとなると私は思うのです。合掌

しょうぎ修験について

しょうぎ修験については分からないことの方が圧倒的に多いです。というかほとんど分かりません。

明治時代初頭、『神仏分離令』というものが下りました。それまでの日本は神様と仏様を分けず、同じように祀ってきたのですが、明治政府は「そんなんだからあかんわ! 神は神! 仏は仏でちゃんと分けた!」と強制的に日本の信仰文化の形を変えてしまいました。修験道は前述したように全てに手を合わせ信仰なので分離できません。そのため政府は更に『修験道廃止令』というものを下し、修験道を日本中から排除してしまっただけです。その際、しょうぎ修験は完全につぶされ、残っていた資料も後に火事で焼けてしまいました。今は古い絵図に少し「山伏」という言葉がみられる程度です。

ただ!! 修験道の行者は本来自らの体を使、てそこのお山から教えを受け取るもの。お山はなくてはならない! だから私はかつてのしょうぎの山伏たちが何もこのしょうぎ山から受け取っていたのか、これから時間をかけてしょうぎ山と対峙して知ってゆきたいと思っています。かつてここにいた、しょうぎの山伏たちは何を見、何を感じ、このお山でどのように行を積んできたのか。お山に教えをもらおうと思っています。



ア- 拜